



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日  
東

上場会社名 スズデン株式会社 上場取引所  
 コード番号 7480 URL <https://www.suzuden.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 鈴木 敏雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中野 諭 (TEL) 03-6910-6801  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	50,917	20.8	3,302	71.3	3,594	66.2	2,394	53.3
2022年3月期第3四半期	42,167	28.3	1,927	119.7	2,163	106.0	1,561	171.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,453百万円(57.5%) 2022年3月期第3四半期 1,557百万円(149.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	171.33	—
2022年3月期第3四半期	111.90	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	32,886	17,689	53.8
2022年3月期	32,736	17,627	53.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 17,689百万円 2022年3月期 17,627百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	97.00	122.00
2023年3月期	—	76.00	—		
2023年3月期(予想)				73.00	149.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,800	8.6	3,800	24.5	4,100	21.8	2,600	11.0	186.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	14,652,600株	2022年3月期	14,652,600株
2023年3月期3Q	657,987株	2022年3月期	681,287株
2023年3月期3Q	13,974,359株	2022年3月期3Q	13,955,208株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
3. その他	11
仕入及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)における当社グループを取り巻く環境は、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰や急速な円安の進行による物価上昇等により先行きに対する景気の不透明感が残るものの、足元では企業の生産活動や設備投資需要は堅調に推移いたしました。

こうした環境の中、BCPの観点から当社では社員の健康と安心安全を最優先とした対策を行いながら、「もの造りサポートカンパニー」として、もの造りを支えるために在庫の拡充や受発注体制の強化ならびに物流体制の維持に努め、商品の安定供給に努めてまいりました。

当社グループの業績につきましては、主力販売先である電気機器・電子部品・産業機械業界において、部材不足による供給懸念やサプライチェーンの混乱等の影響は残るものの、第1四半期末以降から商品の供給体制は回復傾向にあり、売上増に繋がりました。特に主要顧客である半導体製造装置メーカーにおいて、納入先である半導体メーカーの設備投資需要が調整局面に入り、その影響が懸念されましたが、引き続き生産活動が堅調に推移したことも当社の業績に寄与いたしました。利益面につきましては、売上の増加に伴う利益の増加により、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50,917百万円(前年同四半期比20.8%増)、営業利益は3,302百万円(前年同四半期比71.3%増)、経常利益は3,594百万円(前年同四半期比66.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,394百万円(前年同四半期比53.3%増)と前年同四半期に比べ増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、もの造り機能の強化および顧客要求事項に対応するため、大和工場(宮城県黒川郡)を増設し、半導体製造装置関連顧客向けにアルミフレームの組立てを開始しており、セグメントを「製造事業」と区分しております。

それに伴い、第1四半期連結会計期間より、セグメントを従来の「電機・電子部品販売事業」の単一セグメントから、「電機・電子部品販売事業」「製造事業」の2セグメントに変更しております。

#### (電機・電子部品販売事業)

電機・電子部品販売事業における売上高は50,770百万円(前年同四半期比20.4%増)、営業利益は3,388百万円(前年同四半期比75.8%増)となりました。

なお、商品分野別の売上高につきましては、次のとおりであります。

##### ①FA機器分野

RFID、センサー、制御盤等が増加し、売上高は30,762百万円(前年同四半期比22.8%増)となりました。

##### ②情報・通信機器分野

CPU、OAアクセサリ、ルーター等が増加し、売上高は3,937百万円(前年同四半期比12.2%増)となりました。

##### ③電子・デバイス機器分野

コネクタ、スイッチング電源、ノイズフィルター等が増加し、売上高は6,761百万円(前年同四半期比24.4%増)となりました。

##### ④電設資材分野

積算電力計、端子台、電線ケーブル等が増加し、売上高は9,309百万円(前年同四半期比14.0%増)となりました。

#### (製造事業)

製造事業における売上高は146百万円、営業損失は85百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて150百万円増加し、32,886百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、26,886百万円となりました。

これは主に、棚卸資産の増加909百万円、現金及び預金の減少1,455百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて166百万円増加し、5,999百万円となりました。

これは主に、建設仮勘定の増加242百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、15,197百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて275百万円減少し、13,649百万円となりました。

これは主に、未払法人税等の減少433百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて363百万円増加し、1,547百万円となりました。

これは主に、長期借入金の増加350百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、17,689百万円となりました。

これは主に、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,394百万円、配当金の支払2,435百万円によるものであります。なお、自己資本比率は53.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から1,455百万円減少し、4,681百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は1,312百万円の増加となりました。（前年同四半期における資金は183百万円の減少）

これは主に、税金等調整前四半期純利益3,561百万円、法人税等の支払額1,536百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は744百万円の減少となりました。（前年同四半期における資金は632百万円の減少）

これは主に、有形固定資産の取得による支出660百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2,047百万円の減少となりました。（前年同四半期における資金は429百万円の減少）

これは主に、長期借入れによる収入500百万円、配当金の支払額2,431百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第4四半期以降につきましては、世界的な景気後退による半導体需要の減速により、半導体メーカーの設備投資需要が調整局面に入り、投資計画の延伸も出始めております。こうした中、当社の主力販売先である半導体製造装置メーカーにおいては、先行きの見通しについては不透明な状況が継続すると想定しております。

また、主要顧客においては、生産部材の在庫が潤沢に積み上がっており、その影響の大きさの判断が難しい状況です。

一方、2023年3月期第3四半期累計期間において、半導体製造装置メーカーをはじめとした主要顧客の生産活動が堅調に推移したことから売上・利益ともに前回発表予想を上回る見通しとなり、2023年3月期通期業績予想を修正することといたしました。

詳細につきましては、本日（2023年1月31日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により変動する場合があります。

当社の状況につきましては、月次の売上高（単体）について開示しております「売上高推移速報」をご参照ください。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,148,188	4,692,812
受取手形及び売掛金	12,073,314	10,857,327
電子記録債権	4,585,551	6,547,086
商品	3,657,056	-
棚卸資産	-	4,567,040
その他	441,830	226,081
貸倒引当金	△3,326	△3,494
流動資産合計	26,902,616	26,886,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,450,474	2,328,775
土地	1,909,493	1,909,493
建設仮勘定	11,000	253,000
その他(純額)	103,569	114,217
有形固定資産合計	4,474,538	4,605,487
無形固定資産	113,767	149,603
投資その他の資産		
その他	1,279,858	1,278,283
貸倒引当金	△34,592	△33,662
投資その他の資産合計	1,245,265	1,244,620
固定資産合計	5,833,572	5,999,710
資産合計	32,736,188	32,886,564
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,198,414	5,392,737
電子記録債務	3,077,472	3,941,262
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	41,544	100,000
未払法人税等	1,002,683	568,831
賞与引当金	459,936	481,344
役員賞与引当金	211,000	218,250
その他	933,987	946,817
流動負債合計	13,925,038	13,649,242
固定負債		
長期借入金	-	350,000
役員株式給付引当金	57,010	67,017
退職給付に係る負債	927,843	933,324
その他	199,115	197,477
固定負債合計	1,183,969	1,547,819
負債合計	15,109,008	15,197,061

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,558,048	1,580,845
利益剰余金	14,761,556	14,720,197
自己株式	△586,718	△565,150
株主資本合計	17,552,116	17,555,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,915	78,126
為替換算調整勘定	31,757	54,657
退職給付に係る調整累計額	6,391	1,596
その他の包括利益累計額合計	75,063	134,381
純資産合計	17,627,179	17,689,503
負債純資産合計	32,736,188	32,886,564

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	42,167,192	50,917,875
売上原価	35,762,383	42,877,153
売上総利益	6,404,808	8,040,722
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	418,886	393,856
給料手当及び賞与	1,907,129	2,046,249
株式報酬費用	26,158	36,973
法定福利費	317,117	286,449
退職給付費用	104,770	100,855
賃借料	345,586	241,097
減価償却費	152,282	142,155
賞与引当金繰入額	265,840	472,756
役員賞与引当金繰入額	138,750	218,250
その他	800,530	799,317
販売費及び一般管理費合計	4,477,052	4,737,959
営業利益	1,927,755	3,302,763
営業外収益		
受取利息	645	892
受取配当金	16,425	31,424
仕入割引	195,131	222,414
為替差益	17,463	41,544
その他	18,682	18,353
営業外収益合計	248,348	314,628
営業外費用		
支払利息	6,799	10,903
手形売却損	1,758	1,296
リース解約損	2,803	366
その他	1,729	10,726
営業外費用合計	13,090	23,293
経常利益	2,163,013	3,594,099
特別利益		
投資有価証券売却益	1,418	-
リース債務取崩益	108,746	-
特別利益合計	110,164	-
特別損失		
減損損失	5,456	5,394
固定資産除却損	239	26,932
特別損失合計	5,695	32,327
税金等調整前四半期純利益	2,267,481	3,561,772
法人税、住民税及び事業税	701,897	1,125,648
法人税等調整額	3,927	41,862
法人税等合計	705,825	1,167,511
四半期純利益	1,561,656	2,394,261
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,561,656	2,394,261

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,561,656	2,394,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,252	41,211
為替換算調整勘定	16,233	22,900
退職給付に係る調整額	△3,276	△4,794
その他の包括利益合計	△4,295	59,317
四半期包括利益	1,557,361	2,453,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,557,361	2,453,578
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,267,481	3,561,772
減価償却費	152,282	168,102
減損損失	5,456	5,394
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,707	21,408
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	68,050	7,250
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	12,700	31,574
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,830	5,481
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△272	△762
受取利息及び受取配当金	△17,071	△32,317
支払利息	6,799	10,903
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,418	-
リース債務取崩益	△108,746	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,245,585	△734,441
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,308,236	△902,605
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,287,428	52,579
その他	244,939	632,824
小計	381,684	2,827,164
利息及び配当金の受取額	16,794	32,255
利息の支払額	△6,748	△10,894
法人税等の支払額	△575,035	△1,536,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183,304	1,312,173
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△816,671	△660,325
無形固定資産の取得による支出	△14,433	△49,173
有形固定資産の除却による支出	-	△26,855
投資有価証券の取得による支出	△22,059	△20,623
投資有価証券の売却による収入	36,329	-
敷金及び保証金の差入による支出	△3,477	△791
敷金及び保証金の回収による収入	187,397	13,050
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
定期預金の払戻による収入	3,000	3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△632,914	△744,718
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,000,000	-
長期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	△291,576	△91,544
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△28,957	△23,956
配当金の支払額	△1,109,143	△2,431,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429,677	△2,047,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,285	24,171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,231,611	△1,455,376
現金及び現金同等物の期首残高	5,886,920	6,137,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,655,309	4,681,812

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新規事業の開始について)

第1四半期連結会計期間から、もの造り機能の強化および顧客要求事項に対応するため、大和工場(宮城県黒川郡)において半導体製造装置向けアルミフレームの組立等に関する事業を開始いたしました。これに伴い、連結貸借対照表の商品を第1四半期連結会計期間より棚卸資産に含めて表示しております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載いたしました仮定について重要な変更はありません。

## 3. その他

## 仕入及び販売の状況

## (1)仕入実績

品目名	電機・電子部品販売事業		製造事業		合計	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)	前年同期比 (%)
F A機器	27,734,512	22.6	—	—	27,734,512	22.6
情報・通信機器	3,014,216	△12.0	—	—	3,014,216	△12.0
電子・デバイス機器	5,328,321	21.7	—	—	5,328,321	21.7
電設資材	7,527,574	13.4	—	—	7,527,574	13.4
その他	—	—	108,696	—	108,696	—
合計	43,604,625	17.6	108,696	—	43,713,321	17.9

(注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

2 製造事業は、第1四半期連結会計期間より開始したため、前年同期比は記載しておりません。

## (2)販売実績

品目名	電機・電子部品販売事業		製造事業		合計	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)	前年同期比 (%)
F A機器	30,762,485	22.8	—	—	30,762,485	22.8
情報・通信機器	3,937,720	12.2	—	—	3,937,720	12.2
電子・デバイス機器	6,761,126	24.4	—	—	6,761,126	24.4
電設資材	9,309,562	14.0	—	—	9,309,562	14.0
その他	—	—	146,980	—	146,980	—
合計	50,770,894	20.4	146,980	—	50,917,875	20.8

(注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

2 製造事業は、第1四半期連結会計期間より開始したため、前年同期比は記載しておりません。